

子育て支援の充実

(単位:千円)

事業名	民設児童育成クラブ施設整備費補助金			区分	拡大
事業費	担当部局・所属	子ども家庭部		子ども子育て推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,000	3,333	3,333			3,334

<事業の概要>

児童数や就労家庭の増加等に伴って児童育成クラブの利用者数が増加傾向にあることから、施設の増加を図り、多様な保護者のニーズに対応するため、民設民営による児童育成クラブの開設を支援します。

【主な内容】

民設児童育成クラブ施設整備費補助金 上限250万円×4か所
開設予定の小学校区については、児童数や申込数の状況等を検証の上、決定します。

【スケジュール】

平成30年度 公募により設置・運営者の決定、施設整備および補助金交付
平成31年4月 開設予定

【開設実績】

平成27年度 草津小学校区、渋川小学校区、笠縫小学校区
平成28年度 志津小学校区、矢倉小学校区、玉川小学校区
平成29年度 志津南小学校区、老上西小学校区、南笠東小学校区、笠縫小学校区

<事業の目的・効果>

民設民営による児童育成クラブを新たに開設し、受け入れ定員を拡大するとともに、多様な保護者のニーズに対応します。これにより、保護者の就労と子育ての両立を支援し、また、放課後の適切な遊びや生活指導等を通して、児童の心身の健全な育成を図ります。

	経費の内訳	
	施設整備費補助金	10,000

子育て支援の充実

(単位:千円)

事業名	障害児通所給付費(民間事業所利用者負担軽減分・居宅訪問型児童発達支援費)			区分	新規
事業費	担当部局・所属 子ども家庭部			発達支援センター	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,731	350	175			1,206

＜事業の概要＞

児童発達支援、保育所等訪問支援のサービスについて、利用者のニーズが高まっており、民間事業所を利用するケースが増えています。

これらのサービスについて、従来の公設事業所(発達支援センター)だけでなく、民間事業所の利用についても、利用者負担分を支援します。

また、障害児通所支援を利用するために外出することが困難な場合等に、自宅を訪問して児童発達支援を行うサービスを始めます。

【主な内容】

- ・障害のある就学前の子どもが、民間事業所の実施する児童発達支援、保育所等訪問支援のサービスを利用する場合に利用者負担分を全額支援します。
- ・重度の障害がある子どもが、児童発達支援のサービスを受けるために外出することが困難な場合等に、発達支援センターの職員が自宅を訪問し、日常生活における基本的な動作や知識の習得を支援します。

【スケジュール】

平成30年4月・・・事業実施

＜事業の目的・効果＞

障害のある子どもに対し、早期からの発達支援の充実を図ることで、保護者が安心して子育てができる環境を整えます。



経費の内訳

児童発達支援費補助金	876
保育所等訪問支援費補助金	77
居宅訪問型児童発達支援費	778

子育て支援の充実

(単位: 千円)

事業名	認定こども園整備費(志津・山田・玉川)			区分	継続
事業費	担当部局・所属	子ども家庭部		幼児課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
504,565	50,474		334,800	繰 117,900	1,391

<事業の概要>

「草津市幼保一体化推進計画」に基づき、質の高い幼児教育と保育の一体的な提供に向けて、公立幼稚園の認定こども園化に向けた施設改修に取り組みます。

【主な内容】

- ・(仮称)志津認定こども園整備事業(平成31年度開園、利用定員130人→175人予定)
既存棟改修
- ・(仮称)山田認定こども園整備事業(平成31年度開園、利用定員65人→90人予定)
増築棟の建設および既存棟改修
- ・(仮称)玉川認定こども園整備事業(平成32年度開園、利用定員130人→175人予定)
増築棟の建設および既存棟一部改修

<事業の目的・効果>

将来の就学前人口や地域需要の動向、多様な保育ニーズや保護者の就労状況等に対応できる新しい就学前施設を整備し、幼保一体化を推進します。

- ・幼児教育・保育の質の確保
- ・幼稚園・保育所の在籍状況のアンバランスと待機児童の解消
- ・3歳児への幼児教育推進
- ・子育て支援の充実

<p>認定こども園とは ～幼稚園と保育所の両方の良いところを活かした施設です。</p>	経費の内訳	
	(仮称)志津認定こども園整備事業 整備工事費 115,264 工事監理費 4,885 初度備品購入費 3,936	
	(仮称)山田認定こども園整備事業 整備工事費 100,272 工事監理費 6,486 初度備品購入費 3,025	
	(仮称)玉川認定こども園整備事業 整備工事費 261,647 工事監理費 9,050	

子育て支援の充実

(単位:千円)

事業名	民間保育所等施設整備費補助金			区分	拡大
事業費	担当部局・所属		子ども家庭部	幼児課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
973,132	702,702	29,046	185,300	繰 45,000	11,084

<事業の概要>

「子ども子育て支援事業計画」の中間見直しの結果、保育需要が計画を上回るペースで推移していることから、計画の最終年度(平成31年度)に向けて、平成31年4月に開園予定の民間保育所、小規模保育施設および既存民間保育所の整備を支援し、定員拡大による待機児童の解消に取り組みます。

【主な内容】

- ・新設民間保育所施設整備費補助金(3施設以内公募、利用定員250人程度増)
- ・既存民間保育所施設整備費補助金(3施設、利用定員70人程度増)
- ・小規模保育施設整備費補助金(2施設公募、利用定員38人程度増)

※小規模保育事業とは、3歳未満児を対象とした、定員6人以上19人以下の少人数で行う認可保育事業です。

<事業の目的・効果>

保育需要の増加に対応するため、民間保育所および小規模保育施設等の施設整備を行い、待機児童の解消に努めます。



経費の内訳

新設民間保育所施設整備費補助金	615,029
既存民間保育所施設整備費補助金	319,603
小規模保育施設整備費補助金	38,500

高齢者福祉の充実

(単位:千円)

事業名	圏域地域包括支援センター機能強化費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属		健康福祉部	地域保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,218	2,394	1,197		繰保 1,206 保 1,421	

<事業の概要>

地域包括支援センターは、地域の高齢者の総合相談、権利擁護や介護予防のための必要な援助などを行うために設置された機関です。各地域包括支援センターでは、認知症やひとり暮らしの高齢者が増加する中で、相談業務等が増大し事務負担が大きくなっています。このため、各地域包括支援センターに新たに事務職員を配置することで、事務作業の負担を軽減し専門職が相談業務等に専念できる体制を構築します。

【主な内容】

- ・事務職員の配置(6圏域)

<事業の目的・効果>

事務職員を配置することで、専門職が担っている事務作業の軽減を図り、専門職が相談業務等に専念できる体制を確立することで地域包括支援センターの機能強化を図ります。

	経費の内訳	
	事務職員配置費	6,218

高齢者福祉の充実

(単位:千円)

事業名	在宅医療・介護連携推進事業費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 健康福祉部			長寿いきがい課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,536	1,746	873	繰保	879 1,038	

<事業の概要>

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、自宅等の住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、新たに在宅医療と介護の関係者の緊密な連携を支援するコーディネータを配置し、在宅療養を支える仕組みづくりを進めます。

【主な内容】

- コーディネータの配置
- <コーディネータの主な役割>
 - ・在宅療養者の支援に関わる医療・介護関係者からの相談支援
 - ・医療機関と介護関係者の連携に係る課題抽出および集約
 - ・地域の医療介護資源の情報収集
 - ・在宅医療・介護連携推進のための各種研修の開催支援 など
- 実施方法
 - 一般社団法人草津栗東医師会へ委託

<事業の目的・効果>

地域のかかりつけ医、看護職、介護職などの多職種連携を促進することで、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、その人らしい過ごし方(在宅療養生活)ができるようチームサポート体制の構築を推進します。



経費の内訳

コーディネータ配置等委託費	3,981
在宅医療介護連携推進会議開催費	396
市民講座開催費	78
その他事務費	81

高齢者福祉の充実

(単位:千円)

事業名	介護車両改造費補助金			区分	新規
事業費	担当部局・所属		健康福祉部	長寿いきがい課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
525					525

<事業の概要>

中重度の要介護の人が外出する際に使用することを目的に購入する車いす仕様車などの介護車両の購入費等のうち、改造費の一部を支援します。

【対象者】 以下の①～③の条件を満たす人

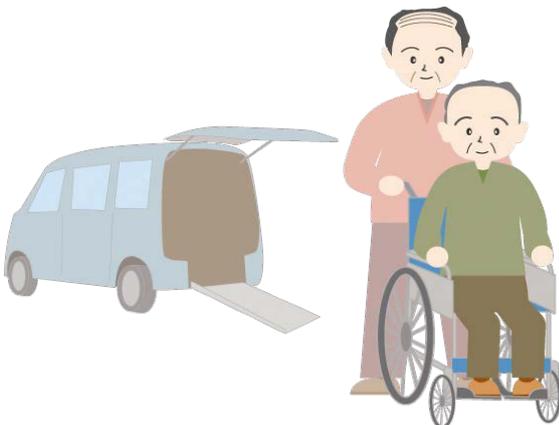
- ① 要介護3以上の人または要介護3以上の人と生計を一にする人
- ② 要介護のため、自動車の改造の必要があると認められる人
- ③ 補助金の交付を申請する月の属する前年の本人ならびにその配偶者および扶養義務者の所得税の課税所得金額が、当該月の属する年の特別障害者手当の所得制限限度額を超えない人

【補助額】

- 新車購入に対する補助 7万5千円(改造費用が当該金額を下回る場合は、改造費用)
- 中古車購入に対する補助
初度登録年月から36か月以内 4万5千円(37か月以上 2万3千円)
- 現に所有する車両の改造に対する補助
15万円を限度とする改造費相当額に2分の1を乗じて得た額

<事業の目的・効果>

介護車両の購入費等のうち、改造費の一部を支援することで、中重度の要介護の人の外出支援と介護家族の負担軽減を図ります。

	経費の内訳	
	介護車両改造費補助金	525

スポーツ健康づくりの推進

総合計画リーディングプロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位:千円)

事業名	(仮称)草津市立プール整備費			区分	新規
事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,675					8,675

<事業の概要>

平成36年度に開催される第79回国民体育大会および第24回全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場として、また、ポスト国体を見据えた「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「市民のスポーツ・健康づくり」の実現に向け、(仮称)草津市立プールの整備を進めます。

【施設の概要】

整備予定地:西大路町他

主な施設:屋内温水50mプール、25mプール(飛込兼用)

【主な内容】

公園整備計画策定業務

建物調査業務

基本計画検討懇話会の開催

<事業の目的・効果>

野村運動公園や草津川跡地公園との連携を図り、スポーツ健康づくりの機会の推進を図るとともに健康都市としての魅力向上につなげます。また、県内唯一の屋内50mプール・飛込兼用の25mプールを有する施設としての活用を図り、全国規模の大会や合宿の誘致を通じて、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげます。

<p>(仮称)草津市立プール位置図</p>	経費の内訳		
	<p><平成30年度当初予算></p> <p>整備調査費 7,074</p> <p>基本計画検討懇話会運営費 400</p> <p>その他事務費 1,201</p>		
	<p><平成29年度補正予算></p> <p>基本計画策定他支援業務委託費 18,706</p>		

スポーツ健康づくりの推進

総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	「くさつ健幸ウオーク2018」開催費補助金			区分	継続
事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,450	1,725				1,725

＜事業の概要＞

ウォーキングは、ランニングとともに誰もが気軽に取り組めるスポーツとして、多くの人を楽しんでいます。近年は高齢者をはじめ、体力に自信のない人でも取り組めるスポーツとして、専用ポールを使用したノルディックウオークに取り組まれる人も増えています。

こうした中で、ウォーキングを通じたスポーツ健康づくりを推進するため、市内を舞台とした「健幸ウオーク2018」を開催します。

【事業計画】

- ・開催時期 平成30年度 秋
- ・発着会場 草津川跡地公園(区間5) de 愛ひろば イベント広場

＜事業の目的・効果＞

市内を舞台にウォーキングイベントを開催することを通じて、住む人も訪れる人も「健幸」になれるまちを具現化するとともに、誰もが気軽にスポーツに取り組むことができる機会の充実を図ります。

	経費の内訳	
	ウォーキング大会開催費補助金	3,450

スポーツ健康づくりの推進

(単位:千円)

事業名	中学校運動部活動支援・指導員派遣事業費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,140	973				1,167

<事業の概要>

中学校の運動部活動では、専門的な指導者の不足や、指導に対するニーズの多様化等を背景に、教員が指導に不安を抱えていたり、長時間の勤務につながってしまうなど、心身への負担が大きいといった課題があります。

これらの課題を解消し、中学校の運動部活動の活性化や生徒の競技力向上、教員の勤務時間の削減を図るため、(公社)草津市体育協会の人材バンク制度「スポーツリーダーバンク」を活用し、登録された指導者が、中学校の運動部活動で顧問の教員の下で指導する「中学校運動部活動支援事業」を引き続き実施します。また、新たに、資格を持った指導者が部活動顧問を担うことができる「中学校運動部活動指導員派遣事業」も創設します。

【スケジュール】

平成30年4月～ 各中学校とスポーツリーダーバンク登録者との調整、打ち合わせ、派遣
6月～ 各中学校と指導員の調整、打ち合わせ、派遣

<事業の目的・効果>

中学校運動部活動において専門的な知識を持つ外部人材を活用することで、生徒の競技力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革を推進します。

	経費の内訳	
	中学校運動部活動 支援事業費補助金 指導員派遣事業費	679 1,461

スポーツ健康づくりの推進

総合計画リーディングプロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位: 千円)

事業名	野村公園整備費			区分	継続
事業費	担当部局・所属		建設部・教育委員会	公園緑地課・スポーツ保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,970,148	1,453,141		1,249,600	繰 223,824	43,583

<事業の概要>

中心市街地におけるにぎわい拠点の整備を進めるため、市民スポーツの拠点である市民体育館をスポーツ以外の各種イベントも実施可能な体育館として、建替え工事を引き続き実施します。

【施設概要】

体育館 建築面積(約7,000㎡)
 メインアリーナ(約2,000㎡)、サブアリーナ(約830㎡)
 収容観客数(約3,500人)

【事業費総額】 2,970,148千円

体育館建設工事費、工事監理費、付帯工事費、備品購入費等

【事業年度計画】

平成30年度: 体育館建設工事、工事監理業務、付帯工事、備品購入
 平成31年度: 体育館供用開始

<事業の目的・効果>

- ・野村運動公園の施設を更新し、スポーツ施設の充実を図ります。
- ・中心市街地を活性化するにぎわいを創出します。
- ・中心市街地に不足する緑地と、防災拠点など多機能を有するオープンスペースを確保します。

野村公園整備第1期事業		経費の内訳	
	建設工事費		2,824,542
	工事監理費		17,064
	付帯工事費		59,100
	付帯工事実施設計費		5,400
	電柱移設補償費		3,000
	備品購入費		60,000
	その他事務費		1,042

野村公園体育館イメージ図

総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	草津市版ヘルスツーリズム実証事業費			区分	継続
事業費	担当部局・所属		環境経済部	商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,000	2,000				2,000

<事業の概要>

平成29年度のヘルスツーリズム調査検討業務の結果を踏まえて、草津市観光物産協会を中心にスポーツ関係団体や、農漁業関係者、大学など、多様な事業者と連携を図りながら、草津市版ヘルスツーリズムの商品化に向けて、地域資源の活用方法や広報宣伝戦略の検討を進めるとともに、引き続きモニターツアーを実施しながら実証を重ねていきます。

【主な内容】

- ・地域資源の活用に向けた素材集の調製
- ・広報宣伝戦略の検討
- ・モニターツアーの実施(夏季と秋季に計4回程度)

※ヘルスツーリズム:旅行という非日常的な楽しみの中で、健康回復や健康増進を図るもの。

<事業の目的・効果>

「健幸」になれる効果的なツアーを構築していくことにより、市民の健康増進や観光振興等の取組につなげ、交流人口の増加や草津を訪れば「健幸」が享受できる都市としての魅力向上を図ります。



平成29年度に実施したモニターツアーの風景

経費の内訳

草津市版ヘルスツーリズム実証事業費	4,000
(観光物産協会観光振興活動費補助金)	



総合計画リーディング・プロジェクト(「健康都市」づくりの推進)

(単位: 千円)

事業名	健康経営推進費			区分	新規
事業費	担当部局・所属	環境経済部		商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,300	650				650

<事業の概要>

事業者が従業員の健康管理を経営的視点で捉え、従業員の健康保持・増進に取り組むことが組織の活性化や生産性の向上につながり、ひいては収益性を高めるものであるという考え方のもと、市内事業所に対して最新の健康経営の情報や健康経営の取組事例などを発信し、健康経営の導入の推進を図ります。

【主な内容】

- ・健康経営シンポジウムの開催(1回)
- ・健康経営セミナーの開催(2回程度)

<事業の目的・効果>

市内の事業所が健康経営に取り組むことで、事業者側のメリットとして、労働生産性を高め、高い利益率を享受し、労働災害や企業リスクを低減することができ、安定した経営が可能となります。

また、従業員側のメリットとして、健康の増進、生活の質の向上や働きがいを得ることが期待できます。健康経営の取組を進めることで、従業員が安心して事業所で働き、健幸になれるまちを目指します。

	経費の内訳	
	シンポジウムおよびセミナー開催費	1,300



総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健幸づくり推進費		区分	拡大
事業費	担当部局・所属		健康福祉部・関係各部	
			健康福祉政策課・関係各課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
	一般財源			
9,813	4,638	178		4,997

<事業の概要>

市民が生きがいをもち、住む人も訪れる人も健やかで幸せになれる「健幸都市くさつ」の実現を目指す「草津市健幸都市基本計画」に基づき、行政や地域、大学、企業・団体等、あらゆる主体が連携し、市の総合政策として健幸都市づくりに向けた取組を進めます。

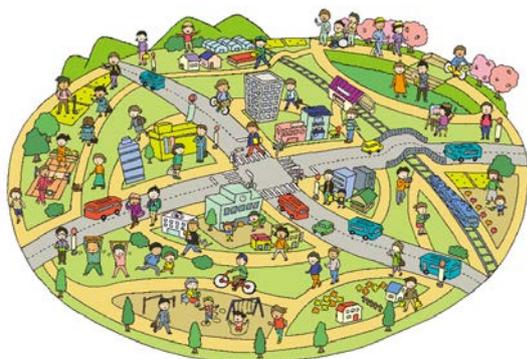
【主な内容】

- ・草津川跡地公園における健幸フェアの開催
(くさつ健幸ウオークや「食」に関するイベントと同時開催)
- ・食品ロス削減に健康づくりの取組を加えた「3010運動+(プラス)」の推進
- ・健康のまち草津モデル事業費補助金
- ・食と運動のヘルスチェックデーの開催
- ・食育啓発・実践のため飲食店等との連携を推進



<事業の目的・効果>

急速な高齢化が進む中で、認知症や寝たきりなど介護を必要とする人が増え、生活習慣病の増加に伴い医療費も増加するなど、介護予防や疾病予防の強化が必要となっています。従来からの健康福祉施策だけでなく、ハード・ソフト両面からの施策展開や社会的なつながりの強化、産学公民の連携などにより、市全体で健幸都市づくりを進め、高齢化や人口減少が進んでも持続可能な社会の実現を目指します。



<健幸都市のイメージ>

経費の内訳

健幸フェア開催費	980
3010運動+推進費	899
健康のまち草津モデル事業費補助金	7,000
食と運動のヘルスチェックデー開催費	758
健幸くさつチャレンジ食育推進費	176

総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健幸づくり拠点整備事業費			区分	新規
事業費	担当部局・所属	健康福祉部・建設部		健康福祉政策課・公園緑地課・草津川跡地整備課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,268	12,788				1,480

＜事業の概要＞

「まちの健幸づくり」を進めるため、従来からの健康施策の枠組を超えて、ハード・ソフトの両面から健康づくりを進め、「出かけたくなるまちづくり」や「交流機会や健康拠点の充実」の取組を推進します。

【主な内容】

＜健幸づくり支援事業＞

BIWA-TEKUアプリと、体組成計や血圧計などの測定機器を活用して、健康データや活動データを集約し、参加される市民が、そのデータをスマートフォンで参照できるよう健康拠点づくりを進め、地域の健幸づくりの支援を行います。

＜市内公園におけるウォーキングコース整備費＞

ロクハ公園や草津川跡地公園(区間5)において、園路の舗装や案内板の設置を行い、健康づくりを促すための歩きたくなる仕掛けづくりを進めます。

＜事業の目的・効果＞

バイタルデータ・活動データが計測できる機器を健康拠点に配置することにより、「交流機会や健康拠点の充実」を図るとともに、健康づくりにつながる徒歩などによる移動を促進するため、公共空間の整備を行い、「出かけたくなるまちづくり」を進め、市民の運動習慣・健康志向の醸成を図ります。

<p>健康拠点施設</p>	経費の内訳	
	健幸づくり支援事業費	11,308
ロクハ公園	園路舗装整備工事費、案内板設置費	1,960
草津川跡地公園(区間5)	案内板設置費	1,000

総合計画リーディング・プロジェクト(「健康都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健幸ポイント制度推進費			区分	拡大
事業費	担当部局・所属	健康福祉部		健康増進課・保険年金課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,093		3,733			360

＜事業の概要＞

健康づくりの意識の高揚を図ることを目的に、市民が健康づくりの取組をされた場合にポイントを付与し、一定のポイントがたまったら、賞品の応募ができます。

若い世代を含め、さらに多くの人に利用いただき、健康づくりへの関心の向上やきっかけづくりを進めるため、これまでの紙ベースでの運用に加えて、県内10市町や協会けんぽ滋賀支部と共同開発したスマートフォンの健康増進アプリ(BIWA-TEKU)活用により、「ひとの健康づくり」を推進します。

【対象】

19歳以上の草津市民

【ポイント対象(例)】

個人で健康目標を立て実践した場合(1pt/日)*7日間連続取組につき追加ptあり

スポーツイベントへの参加、健康講座の受講、特定保健指導(20~30pt/回)

特定健診等(特定健診、プレ特定健診、人間ドック、職場健診)の受診(100pt)

がん検診(胃、肺、大腸、乳、子宮)の受診(100pt/回、上限200pt)

バーチャルラリー1コース(5~300pt)、スタンプラリー1コース(100pt)

【ポイント交換】

ポイント数に応じて、賞品の応募に複数回申し込めるように変更(1口 1,000pt)

＜事業の目的・効果＞

健康づくりへの関心を抱くきっかけづくり、生活習慣病の予防や改善のための健康行動や、やる気の維持向上などを図り、健康づくりに取り組む市民が増えることによって、健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指します。



経費の内訳

賞品にかかる報償費	216
ポスター・ポイントカード等の印刷費	121
健康推進アプリ使用料	3,733
その他事務費	23



総合計画リーディング・プロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位: 千円)

事業名	(仮称)市民総合交流センター整備費			区分	継続
事業費	担当部局・所属 都市計画部			都市再生課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
280					280

<事業の概要>

(仮称)市民総合交流センターは、定期借地権方式による民間活力を活用し、市の財政負担の軽減を図りながら、従来から計画している既存公共施設の集約や、子育て支援・市民交流のための機能等に加えて、民間事業者からの提案に基づく新たな機能を付加した、公民の複合施設として整備します。

平成30年度は、整備を行う民間事業者による設計・工事を推進するため、民間事業者や入居関係団体等と協議・調整を行い、事業の進捗を図ります。

【事業年度計画】

平成30年度～平成31年度: 民間事業者による設計・工事

平成31年度 公共施設部分の取得(区分所有)

【敷地概要】

敷地面積 約6,500㎡

所在地 草津市大路二丁目

<事業の目的・効果>

老朽化が著しい既存公共施設等(草津合同ビル、草津市立まちづくりセンター、草津市立人権センター、草津市社会福祉協議会)を集積し、多くの市民が利用しやすい公民複合施設として整備します。子育て支援のための空間、市民交流のための空間等を整備し、にぎわいと交流の促進を図ります。

	経費の内訳	
	事務費 (債務負担行為) 平成31年度 施設購入費 設計・建設モニタリング業務委託費	280 3,050,000 14,500

総合計画リーディング・プロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位:千円)

事業名	北中西・栄町地区市街地再開発事業費補助金			区分	継続
事業費	担当部局・所属 都市計画部			都市再生課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,224,638	612,319	278,824	300,100	繰 33,000	395

<事業の概要>

北中西・栄町地区では都市機能の更新と良好な市街地形成を図るため、権利者が市街地再開発組合を設立し、市街地再開発事業に取り組まれています。

平成30年度は、平成29年度に引き続き、施設建築物建設工事、建設工事監理業務を実施されることから、組合への支援を行います。

【事業年度計画】

平成29年度～平成31年度 : 建設工事

平成31年度末 : 竣工予定

【整備内容】

敷地面積 5,709㎡

延床面積 40,164㎡

階層 地下1階、地上26階

施設用途 住宅、商業、サービス付き高齢者向け住宅



<事業の目的・効果>

細分化された敷地や老朽化した建物等を不燃化された共同建築物に建て替え、オープンスペースなどを確保することにより、中心市街地における災害に強く快適で安全な住みよいまちづくりを進めます。



経費の内訳

補助内容

施設建築物工事費	1,191,288
電波障害防除工事費	11,454
工事監理費	21,896

総合計画リーディング・プロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位:千円)

事業名	草津川跡地整備費・公園運営費			区分	継続
事業費	担当部局・所属 建設部			草津川跡地整備課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
189,276			5,200	使 繰 諸 21,620 10,000 520	151,936

<事業の概要>

草津川跡地整備事業は、草津川跡地全域を一つの「緑軸」として捉え、魅力あふれる空間づくりを進め、多様な市民活動の場として、“にぎわい”と“うるおい”を創出する空間づくりに取り組み、また、災害時には防災空間となるよう整備を進めています。

平成29年に開園した草津川跡地公園(区間2)および(区間5)において、更なる“にぎわい”と“うるおい”の創出を図るため、引き続き、指定管理者制度による管理、運営を行います。

また、草津川跡地公園(区間2)において、多くの人に来園いただけるよう休憩場所を確保します。

【事業区間】

区間2:メロン街道～浜街道

区間4:大津湖南幹線～JR琵琶湖線

区間5:JR琵琶湖線～市道大路16号線

国道1号平面化部、区間6:市道大路16号線～JR東海道新幹線

【各区間の主な事業内容】

区間2:ai彩ひろばとして、指定管理者による管理を行います。

休憩所を設置します。

区間4:JR琵琶湖線上部の道路拡幅にかかるJR施設(トンネル)に影響がないか技術的な検討を行います。

区間5:de愛ひろばとして、指定管理者による管理を行います。

区間R1:国が整備する人道橋の接続に合わせ、取付道路の暫定整備工事を行います。

<事業の目的・効果>

草津川跡地全体を質の高い緑空間として整備を進め、草津川跡地公園(区間2)および(区間5)において、指定管理者により、適切に管理・運営を行い、更なる“にぎわい”と“うるおい”のある空間を創出します。

また、草津川跡地公園(区間2)において、休憩所を設置し、来園者の休憩場所を確保します。

	経費の内訳	
	項目	金額
草津川跡地整備費		
・草津川跡地公園(区間2)		
四阿設置工事費	7,008	
市道下笠25号線用地取得費	10,000	
・草津川跡地(区間4)		
JR構造物解析業務委託費	8,975	
・草津川跡地公園(区間5)		
アーケード撤去費	8,720	
・草津川跡地(区間R1)		
暫定道路設計費・暫定道路整備工事費	27,248	
・その他事務費	15,565	
草津川跡地公園運営費		
・草津川跡地公園指定管理料	106,203	
・その他事務費	5,557	

草津川跡地公園(区間5)(de愛ひろば)

総合計画リーディング・プロジェクト(コミュニティ活動の推進)

(単位: 千円)

事業名	がんばる地域応援交付金			区分	継続
事業費	担当部局・所属		まちづくり協働部	まちづくり協働課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,000					14,000

<事業の概要>

「自分たちのまちは自分たちでつくる」という考えのもと、地域の魅力や課題を地域の皆さんで見つけ出し、各地域の目指す将来像の実現に向け、各まちづくり協議会で実施される地域のコミュニティ振興や魅力向上のための独自の取組を対象として支援します。

【交付額】

1学区あたり4年間(平成28年度から平成31年度まで)で総額3,000千円
平成30年度の1学区あたりの交付上限額は1,500千円

【主な実績】

平成28年度 4学区に交付(3,141千円)
ふるさと絵図作成事業 他
平成29年度 12学区に交付(10,386千円)
「まちづくり計画」改定に向けた住民アンケート 他

<事業の目的・効果>

「がんばる地域応援交付金」は、各まちづくり協議会を中心に、住民主体でさらなる魅力あるまちづくりを進めていただくために交付するものです。

各地域によって資源や魅力、特色や課題は様々であることから、市では対象事業を限定せず、各地域の実情に応じた取組を各地域から提案いただける、提案型の交付金制度とすることで、まちづくりに対する意欲を高め、連帯意識の醸成を図ります。

<p>■ 地域の魅力の向上 ■ 地域課題の解決</p> <p>実現</p> <p>提案会でブラッシュアップ</p> <p>提案</p> <p>住民間での話し合い</p> <p>地域課題の絞り込み</p>	経費の内訳	
	がんばる地域応援交付金	14,000

総合計画リーディング・プロジェクト(コミュニティ活動の推進)

(単位: 千円)

事業名	地域ポイント制度推進費			区分	新規
事業費	担当部局・所属		まちづくり協働部	まちづくり協働課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
503					503

<事業の概要>

本市では、まちづくり協議会をはじめとする地域コミュニティにおける地域活動の担い手不足が課題となっています。まちづくりの新たな担い手づくりを支援し、「協働のまちづくり」を推進するため、事業活動の参画に応じてポイントを交付する仕組みを導入します。

平成30年度からモデル学区(3学区程度)で先行実施し、効果や課題を検証しながら、将来の全学区での実施を目指します。

【主な内容】

対象者 市内在住・在勤でまちづくり協議会の実施する事業に新たに参画する者
 対象事業 まちづくり協議会が実施する事業(イベント・講座・企画運営会議等)
 交付ポイント 活動状況に応じて1ポイント=100円として1年の上限を5,000円とする

<事業の目的・効果>

まちづくり協議会が実施する事業に積極的にスタッフとして参加した人に換金できるポイントを交付することにより、「まちづくりの担い手」を増やし、協働のまちづくりのさらなる推進を図ります。

<p>対象者</p> <p>新たなまち協事業運営スタッフ</p> <p>① 活動 ↓ ② ポイント ↑ ③ 申請 ↓ ④ QOカード ↑</p> <p>まちづくり協議会 ふれあいまつり・企画運営会議 他 まちづくり協議会が実施する事業</p> <p>事業費 ↑ 草津市</p>	<p>経費の内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>報償費(ポイント代)</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>その他事務費</td> <td>200</td> </tr> </table>	報償費(ポイント代)	303	その他事務費	200
報償費(ポイント代)	303				
その他事務費	200				

総合計画リーディング・プロジェクト(コミュニティ活動の推進)

(単位:千円)

事業名	志津まちづくりセンター整備費			区分	新規
事業費	担当部局・所属		まちづくり協働部	まちづくり協働課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
55,863			35,000	繰 11,000	9,863

＜事業の概要＞

昭和53年の竣工から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいる志津まちづくりセンターの改築を行います。

志津まちづくりセンターは敷地が狭く、現施設の運営を続けながらの改築ができないため、平成30年度は、改築に向けた事業用地の取得および新施設の設計を行います。

【施設概要】

所在地:草津市青地町地先

延床面積:約630㎡程度(事務室、和室、調理室、小会議室、大会議室等)

【事業年度計画】

平成30年度 用地取得、基本・実施・解体設計業務

平成31年度 改築、工事監理

平成32年度 解体、工事監理

＜事業の目的・効果＞

まちづくり協議会を主体とした地域のまちづくり活動の拠点施設である地域まちづくりセンターの建替えを行うことにより、地域活動の促進を図ります。

 <p>現 志津まちづくりセンター</p>	経費の内訳	
	設計業務委託費	27,446
	用地取得関連経費	28,417